

## 「平成26年度 第3回県政モニターアンケート調査」 調査結果（概要）

県政モニターの皆様に対して、県政運営の参考とするために下記のとおりアンケート調査を行いました。

### 1 調査方法

- (1) 調査地域 : 長野県全域
- (2) 調査対象者 : 県政モニター(県内在住の20歳以上の男女)  
1,206人(無作為抽出1,110人、公募96人)  
(現在の県政モニターは平成26年7月から登録)
- (3) 調査方法 : 郵送又はインターネット
- (4) 調査期間 : 平成27年1月30日(金)～平成27年2月12日(木)

### 2 調査内容

次の3項目について28問を設定

- (1) しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)について
- (2) 「長野県廃棄物処理計画(第4期)」について
- (3) 「食べ残しを減らそう県民運動」について

### 3 回収状況

回収数 844人 (回収率 70.0%)

### 回答者の内訳

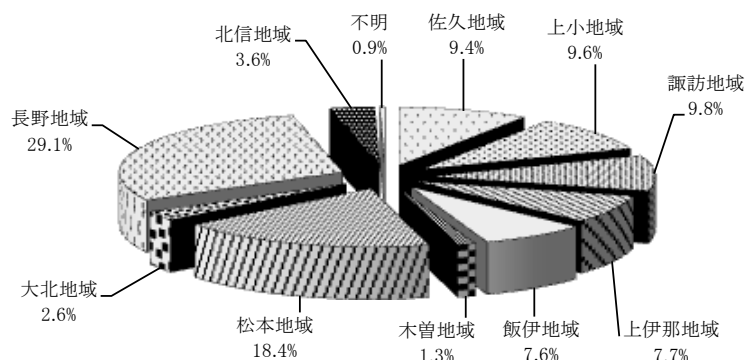
#### 【男女別と年代別】

	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	844	36	87	159	214	242	98	8
	100.0%	4.3%	10.3%	18.8%	25.4%	28.7%	11.6%	0.9%
	男性	17	40	88	129	152	55	—
	57.0%	2.0%	4.7%	10.4%	15.3%	18.0%	6.5%	—
女性	355	19	47	71	85	90	43	—
	42.1%	2.3%	5.6%	8.4%	10.1%	10.7%	5.1%	—
不明	8	—	—	—	—	—	—	8
	0.9%	—	—	—	—	—	—	0.9%

※ 割合(%)はすべて、総数(n=844)に対する割合

#### 【地域別】

	総数	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曽	松本	大北	長野	北信	不明
回答者数	844	79	81	83	65	64	11	155	22	246	30	8
	100.0%	9.4%	9.6%	9.8%	7.7%	7.6%	1.3%	18.4%	2.6%	29.1%	3.6%	0.9%



# 1 しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)について

## 健康づくりに関する実感

### 問1 自分の健康状態をどのように感じているか

■自分の健康状態を、「よい」、「まあよい」と感じている人は、合わせて約8割で、前年度と同水準

① 「よい」と感じている	20.4 %	(18.3 %)
② 「まあよい」と感じている	60.1 %	(61.0 %)
③ 「あまりよくない」と感じている	16.7 %	(17.0 %)
④ 「よくない」と感じている	1.7 %	(1.6 %)

(単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第3回県政モニターアンケート調査数値

### 問2-1 健康の維持・増進に関して取り組んでいること

■「食生活に関すること」、「健康診断受診に関すること」に「取り組んでいる」または「少し取り組んでいる」がそれぞれ8割超

各項目ともに、「取り組んでいる」、「少し取り組んでいる」を合わせた割合

① 運動に関すること	62.6 %	(64.4 %)
② 食生活に関すること	84.6 %	(87.2 %)
③ 生活リズムに関すること	80.5 %	(78.3 %)
④ 飲酒に関すること	75.1 %	(76.2 %)
⑤ 健康診断受診に関すること	83.5 %	(85.1 %)

(①から⑤に対してそれぞれ単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第3回県政モニターアンケート調査数値

①、②については「しあわせ信州創造プラン」達成目標 調査指標

### 問2-2 健康の維持や増進に関することに取り組まない理由

■「時間がない・忙しい」が4割超、「そのような気持ちがない」、「面倒くさい」がそれぞれ2割超

① 「時間がない・忙しい」	44.7 %	(37.4 %)
② 「そのような気持ちがない」	25.4 %	(22.2 %)
③ 「面倒くさい」	24.3 %	(26.6 %)

ほか(複数回答)

※( )内数値は、平成25年度第3回県政モニターアンケート調査数値

### 問3 健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要か

■「ウォーキングコースや歩道の整備」が約5割、「健康づくりに関する情報の充実」が約4割

① 「ウォーキングコースや歩道の整備」	49.2 %
② 「健康づくりに関する情報の充実」	38.9 %
③ 「塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実」	32.6 %
④ 「健康に配慮した弁当や総菜等を販売する店舗の充実」	32.2 %
⑤ 「スポーツジム、プール等運動施設充実」	27.8 %

ほか(複数回答)

## 仕事・社会参加、地域に関する実感

### 問4 公共的活動への参加について

■「参加している」と「参加したことがある」を合わせて7割超

①「現在、参加している」	34.7 %	(39.5%)
②「現在は参加していないが、今までに参加したことがある」	40.8 %	(35.7%)
③「参加したことはないが、今後は参加したい」	13.7 %	(12.6%)
④「参加したことがなく、今後も参加したいと思わない」	9.6 %	(11.6%)

(単数回答)

※ ( ) 内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

「しあわせ信州創造プラン」達成目標 調査指標

### 問5 自分の能力の仕事や公共的活動での発揮について

■「発揮できている」と「まあ発揮できている」を合わせて7割弱

①「発揮できている」	24.5 %	(27.4%)
②「まあ発揮できている」	42.5 %	(42.8%)
③「あまり発揮できて(して)いない」	19.8 %	(16.5%)
④「発揮できて(して)いない」	12.3 %	(12.6%)

(単数回答)

※ ( ) 内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

「しあわせ信州創造プラン」達成目標 調査指標

(問5で「発揮できている」、「まあ発揮できている」と回答した方)

### 能力を発揮できていると思うものについて

■「仕事」が7割超、「自治会、消防団など地域の活動」が3割超

①仕事	73.4 %	(69.8%)
②自治会、消防団など地域の活動	32.7 %	(32.6%)
③市民活動やボランティア活動	21.8 %	(26.6%)
④NPO法人、公益法人での活動	7.7 %	( 7.3%)

ほか (複数回答)

※ ( ) 内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

### 問6 地域の景観や自然、文化などへの誇りについて

■「感じている」と「まあ感じている」を合わせて約8割

①「感じている」	40.5 %	(45.0%)
②「まあ感じている」	39.4 %	(39.6%)
③「あまり感じていない」	16.7 %	(13.2%)
④「感じていない」	2.7 %	( 1.6%)

(単数回答)

※ ( ) 内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

「しあわせ信州創造プラン」達成目標 調査指標

## 文化芸術活動に関する実感

### 問7 文化芸術活動に参加した人の割合

■過去1年間に文化芸術活動(鑑賞を含む。)を行なった人は約6割で、前年度から微増

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| ① 「芸術文化活動を行なった」    | 62.4 % (59.9%) |
| ② 「芸術文化活動を行なわなかった」 | 37.1 % (39.5%) |
- (単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

「しあわせ信州創造プラン」達成目標 調査指標

(問7で「芸術文化活動を行なった」と回答した方)

### 自ら創作・参加した文化芸術活動

■「音楽」、「生活文化」、「美術」、「写真」が比較的多い

- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| ① 音楽(クラシック・ロック・ポピュラー・演歌など) | 13.5 % (14.7 %) |
| ② 生活文化(書道・華道・茶道など)         | 12.5 % (11.8 %) |
| ③ 美術(絵画・彫刻・工芸・陶芸など)        | 10.8 % (12.6 %) |
| ④ 写真                       | 10.1 % (10.2 %) |
| ⑤ 地域の民俗芸能(獅子舞・神楽など)        | 8.3 % (6.9 %)   |
- ほか(複数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

### 問8 住んでいる地域の文化的環境の満足度

■「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせて4割超が満足していない

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| ① 「満足している」          | 5.6 %  |
| ② 「どちらかといえば満足している」  | 34.1 % |
| ③ 「満足していない」         | 27.7 % |
| ④ 「どちらかといえば満足していない」 | 15.5 % |
- (単数回答)

### 問9 地域の文化的環境の充実に必要な事項

■「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が約5割

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| ① 「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」        | 49.9 % |
| ② 「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」         | 45.4 % |
| ③ 「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」 | 36.8 % |
| ④ 「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」     | 35.3 % |
| ⑤ 「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」 | 20.7 % |
- ほか(複数回答)

## 運動・スポーツに関する実感

### 問10 この1年間に行なった運動・スポーツの種類

■「ウォーキング」について、約5割が実施

- |   |               |
|---|---------------|
| ① 「ウォーキング(インターバル速歩、歩け歩け運動、散歩など)」        | 48.8% (54.5%) |
| H25調査では、ランニング、陸上競技を含む選択肢としており、単純比較はできない |               |
| ② 「体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操など)」         | 36.0% (39.1%) |
| ③ 「登山、キャンプ、ハイキング等」                      | 15.2% (14.3%) |
- ほか(複数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

### 問11 この1年間に運動・スポーツを行なった日数

#### ■週1日以上行っている人は約5割

- |           |                |             |                |
|-----------|----------------|-------------|----------------|
| ○「ほとんど毎日」 | 10.2 % (11.6%) | ○「3か月に1～2日」 | 10.9 % (7.9%)  |
| ○「週に3～4日」 | 16.1 % (17.4%) | ○「年に1～3日」   | 10.0 % (8.7%)  |
| ○「週に1～2日」 | 21.1 % (22.6%) | ○「行っていない」   | 11.6 % (11.8%) |
| ○「月に1～3日」 | 17.8 % (17.4%) | ○「わからない」    | 1.4 % (0.4%)   |
- (単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

「しあわせ信州創造プラン」達成目標 調査指標

### 問12 運動・スポーツをする以外の関わり方

#### ■「テレビ等により日常的にスポーツ情報に接している」が4割超

- |                                   |                |
|-----------------------------------|----------------|
| ①「テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している」 | 44.9 % (43.0%) |
| ②「特に関わっていない」                      | 40.6 % (38.7%) |
| ③「競技場等に出掛け、スポーツを観戦する」             | 13.5 % (15.5%) |
- ほか (複数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

## 信州ブランド戦略の認知度

### 問13 信州ブランド戦略キャッチフレーズ「しあわせ信州」の認知

#### ■「しあわせ信州」という言葉を「知っている(聞いたことがある)」が5割超

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| ①「知っている(聞いたことがある)」 | 55.0 % (49.4%) |
| ②「知らない(聞いたことがない)」  | 44.2 % (49.3%) |
- (単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

### 問14 信州ブランド戦略ロゴマーク「信州ハート」の認知度

#### ■「信州ハート」を「目にしたことがある」が4割超

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ①「目にしたことがある」 | 45.4 % (36.3%) |
| ②「目にしたことがない」 | 54.1 % (62.3%) |
- (単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

### 問15 「信州ハート」に込められた意味について

#### ■意味を「知っている」と答えた人が1割超

- |          |                |
|----------|----------------|
| ①「知っている」 | 13.6 % (17.7%) |
| ②「知らない」  | 85.6 % (80.0%) |
- (単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

### 問16 「信州ブランド戦略」の認知度について

#### ■「内容も含め知っている」「内容は一部知っている」「名称は知っている」を合わせると7割弱

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| ①「内容も含め知っている」         | 4.6 % (6.3%)   |
| ②「内容は一部知っている」         | 19.9 % (28.0%) |
| ③「名称は知っている(聞いたことがある)」 | 40.8 % (37.1%) |
| ④「知らない(聞いたことがない)」     | 34.6 % (26.5%) |
- (単数回答)

※( )内数値は、平成25年度第4回県政モニターアンケート調査数値

「しあわせ信州創造プラン」達成目標 調査指標

## 2 長野県廃棄物処理計画(第4期)について

### 問17 長野県の家庭ごみ等の減量化に関する認知度

< 1人1日あたりの一般廃棄物排出量が少ない方から全国3位、リサイクル率が全国7位 >

■「知っている(聞いたことがある)」が約2割、「知らない」が約8割

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ①「知っている(聞いたことがある)」 | 17.7 % |
| ②「知らない」            | 79.3 % |
| (単数回答)             |        |

### 問18 廃棄物にまつわる課題の関心分野

■「ポイ捨てや不法投棄などによる環境破壊」が約7割

- |                                     |        |          |
|-------------------------------------|--------|----------|
| ①「ポイ捨てや不法投棄などによる環境破壊」               | 70.7 % | (79.4 %) |
| ②「焼却炉からの排ガスや最終処分場からの排水などによる環境への影響」  | 44.2 % | (41.0 %) |
| ③「ごみ処理有料化や分別など、住民や事業者にとっての負担の増大」    | 41.4 % | (39.3 %) |
| ④「リサイクル等の循環的な利用が進まないことなどによる天然資源の枯渇」 | 34.1 % | (33.6 %) |
| ⑤「ごみの減量化が進まないことなどによる焼却場や埋立地の不足」     | 33.5 % | (54.0 %) |
|                                     |        | ほか(複数回答) |

※ ( ) 内数値は、平成22年度県民アンケート(廃棄物対策課調査)

### 問19 廃棄物にまつわる課題の解決策

■「住民や事業者の意識改革と廃棄物の減量・循環的な利用への取組」が約7割

- |   |        |          |
|---|--------|----------|
| ①「住民や事業者の意識改革と廃棄物の減量・循環的な利用への取組(排出抑制、再使用、リサイクルの推進)」 | 68.6 % | (77.5 %) |
| ②「メーカーによる使用済製品の引き取り制度の実現など、メーカー責任の強化による発生抑制」        | 57.2 % | (60.6 %) |
| ③「県や市町村による廃棄物処理施設の整備」                               | 30.3 % | (33.6 %) |
| ④「処理業者による廃棄物処理施設整備の推進(リサイクル施設を含む)」                  | 26.5 % | (32.2 %) |
| ⑤「ごみの収集回数を増やすなどの市町村のごみ処理に関するサービスの向上」                | 17.9 % | (13.0 %) |
|   |        | ほか(複数回答) |

※ ( ) 内数値は、平成22年度県民アンケート(廃棄物対策課調査)

### 問20 循環型社会への転換のために有効な取組

■「再生利用をより進めていく(リサイクル:ごみを資源として再び利用する)」が4割弱

- |  |        |
|--|--------|
| ①「再生利用をより進めていく(リサイクル:ごみを資源として再び利用する)」  | 37.0 % |
| ②「排出抑制をより進めていく(リデュース:ものを大切に使い、ごみを減らす)」 | 30.8 % |
| ③「再使用をより進めていく(リユース:使えるものは繰り返し使う)」      | 24.8 % |
| ④「有効な手段はない」                            | 1.8 %  |
| ほか(単数回答)                               |        |

### 問21 ごみ減量のために実践していること

■「買い物の際は、レジ袋をもらわない」が6割超。次いで「必要な食材を必要な量だけ買う、又は料理を余らせない」が5割超など、買い物の際に発生抑制の取組に積極的な姿勢がうかがわれる

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| ①「買い物の際は、レジ袋をもらわない」          | 64.7 % |
| ②「必要な食材を必要な量だけ買う、又は料理を余らせない」 | 55.9 % |
| ③「家庭での生ごみの堆肥化」               | 49.2 % |
| ④「壊れたもの、古いものもできるだけ修理して使う」    | 38.4 % |
| ⑤「家庭での水切りの徹底」                | 35.0 % |
| ほか(複数回答)                     |        |

## 問22 1人1日100g減量のために有効な取組

■「家庭での生ごみの堆肥化、又は水切りの徹底」が約6割。次いで「必要な食材を必要な量だけ買う、又は料理を余らせない」が5割超

①「家庭での生ごみの堆肥化、又は水切りの徹底」	58.8 %
②「必要な食材を必要な量だけ買う、又は料理を余らせない」	55.2 %
③「メーカーによる使用済製品の引き取り制度の実現」	39.2 %
④「買い物の際は、レジ袋をもらわない」	32.8 %
⑤「壊れたもの、古いものもできるだけ修理して使う」	30.9 %
ほか（複数回答）	

## 問23 ポイ捨て・不法投棄対策のために有効な取組

■「行政による指導強化」が約6割、次いで「地道なごみ拾いや花壇づくりなどの美化活動による、ごみを捨てにくい環境の整備」が6割弱

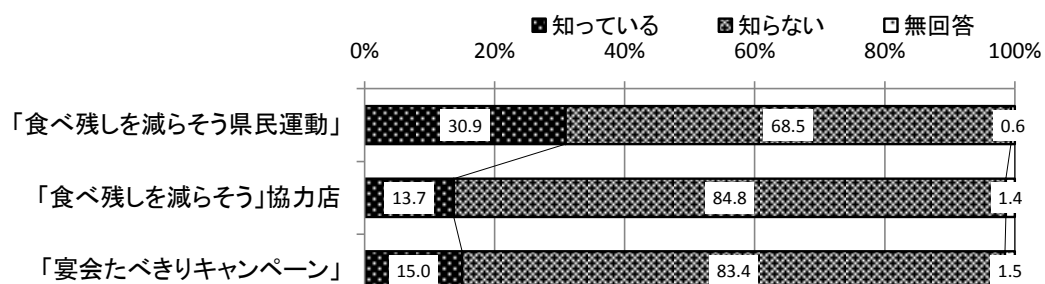
①「ポイ捨て防止条例の制定など、行政による指導強化」	59.5 %	(48.5 %)
②「地道なごみ拾いや花壇づくりなどの美化活動による、ごみを捨てにくい環境の整備」	57.2 %	(55.5 %)
③「警察による取り締まり強化」	40.8 %	(50.9 %)
④「行政や住民によるパトロールの強化」	34.7 %	(39.6 %)
⑤「ポイ捨て禁止の広報・啓発」	32.8 %	(26.3 %)
ほか（複数回答）		

※（ ）内数値は、平成22年度県民アンケート（廃棄物対策課調査）

## 3 「食べ残しを減らそう県民運動」について

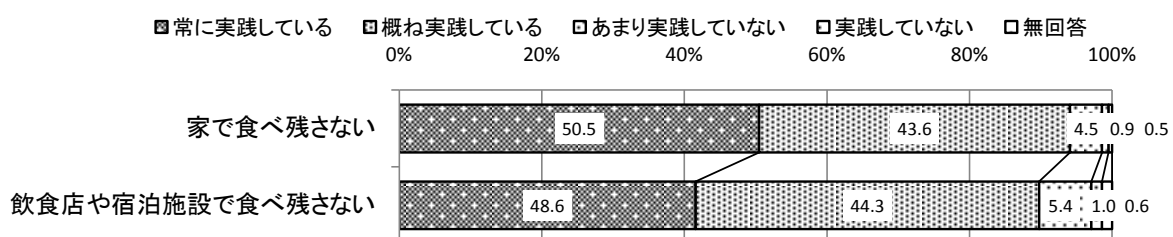
### 問24 「食べ残しを減らそう県民運動」及びその一環の取組の認知度

■「食べ残しを減らそう県民運動」を「知っている」が約3割



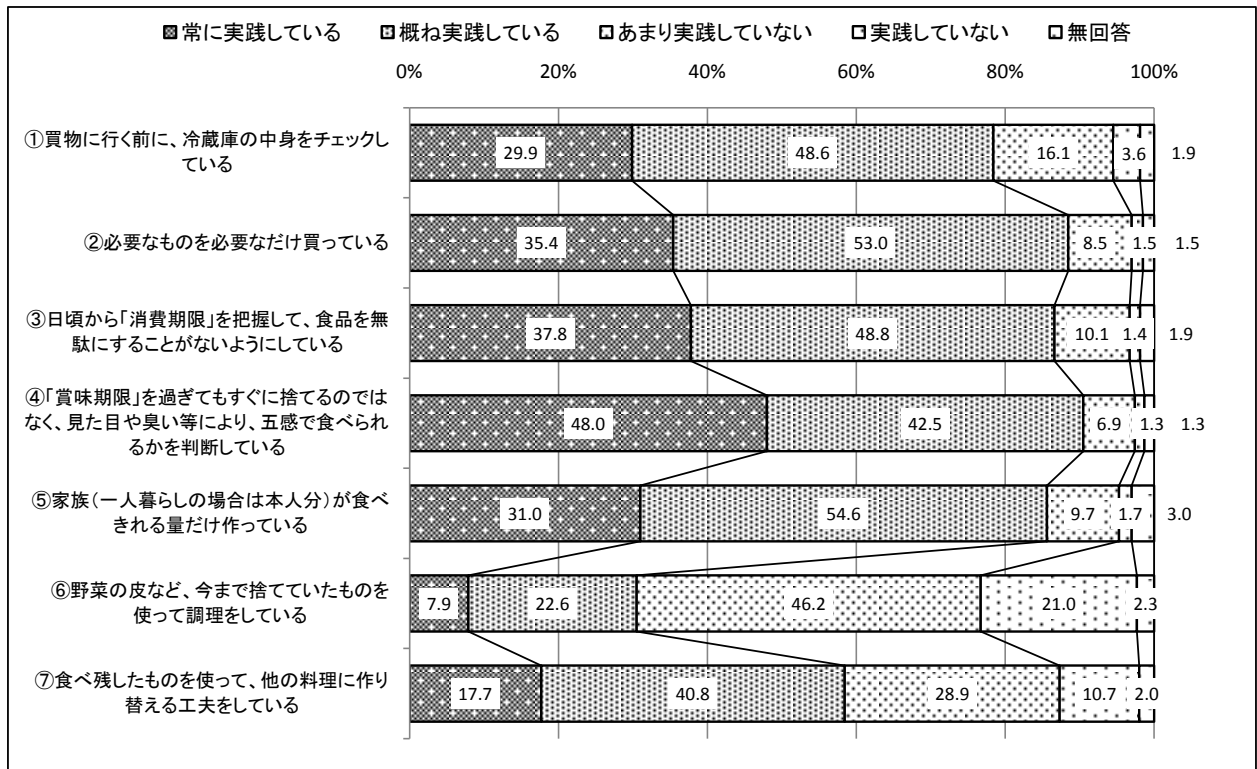
### 問25 家や飲食店・宿泊施設で食べ残さない取組について

■家では「常に実践している」と「概ね実践している」が9割超。飲食店・宿泊施設では「常に実践している」と「概ね実践している」が約9割



## 問26 家庭で生ごみを減らすための取組

■ 常に「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、見た目や臭い等により、五感で食べられるかを判断している人が約5割



(問26で「あまり実践していない」、「実践していない」と回答した方)

## 問27 家庭での生ごみを減らすための取組を行わない理由

■ 「家庭でたい肥化しているので必要性を感じない」、「関心はあるが、面倒くさい」が約3割、「忙しくて、時間がない」が約2割

① 家庭でたい肥化しているので必要性を感じない	31.9 %
② 関心はあるが、面倒くさい	28.5 %
③ 忙しくて、時間がない	19.1 %
ほか（複数回答）	

## 問28 生ごみを減らすための普及活動に適した場

■ 「小学校」が7割弱

① 小学校	66.6 %
② 中学校	51.1 %
③ 公民館、消費者センター	47.9 %
④ 幼稚園・保育園	29.1 %
⑤ 高等学校	17.7 %
ほか（複数回答）	